

リピドミクスについて

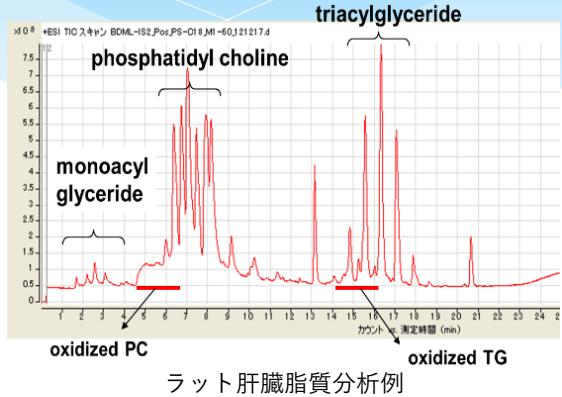
臨床的意義（測定意義）

リピドミクスは、生体内の脂肪酸、中性脂肪、リン脂質などの脂肪成分を網羅的に分析し、バイオマーカーの探索や脂質代謝、薬の作用の機序解明を行う技術です。KPSLおよびLSIMでは、LC-MSを使用し、脂肪酸、モノグリセリド、ジグリセリド、トリグリセリド、リン脂質、カルニチン類、脂肪酸エステル、胆汁酸、コレステロールなどの幅広い脂質を網羅的に分析します。

200種を超える脂質代謝物標品と照合

KPSLでは、当社では、約200種を超える標準脂質代謝物のデータベースを保有しており迅速に照合結果を提供します。脂質データベースの登録数は順次増加しております。

- Cofactors and Vitamins
- Diacylglycerol
- Fatty Acid
- Fatty acid metabolism
- Lipid metabolism
- Lysophosphatidyl choline
- Monoacylglycerol
- Phosphatidyl glycerol
- Phosphatidyl inositol
- Phosphatidylethanolamine
- Prostaglandins
- Sphingolipids
- Sterol metabolism
- Triacylglycerol



ラット肝臓脂質分析例

分析例

糖尿病モデルラットの脂質代謝物をQTOF-MSで定量し、解析プログラム「Marker analysis」で代謝マップを作成しました。代謝マップでは糖尿病モデルとコントロールとの脂質代謝物の変動を見ることができます。

※異性体の表記について

18:2/18:2/18:2 TGは脂肪酸（18:2）を2本有するトリグリセリドを示します。この異性体には

①鎖長が異なるもの

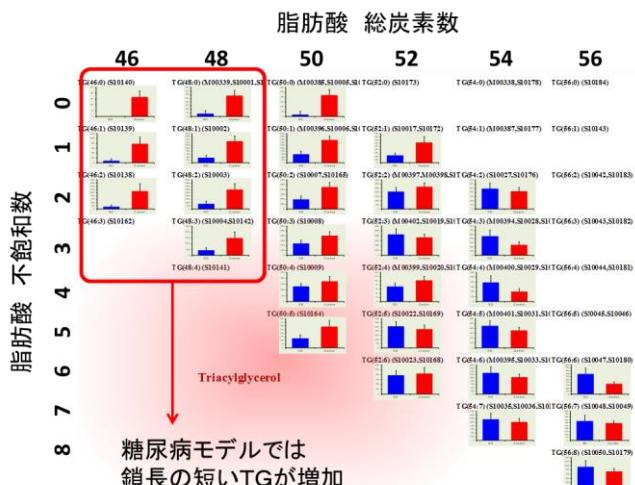
例えば20:2/16:2/18:2 TGや22:2/16:2/16:2 TGなど

②二重結合の位置が異なるもの

例えば18:3/18:1/18:2 TGや18:3/18:0/18:3 TGなど

が存在します。

これら異性体はLC-MSによる分析が困難なため、当社ではこれらの異性体の合計量をTG（54:6）と表記して表します。



お問い合わせ



KPSL
九州プロサーチ LLP

〒819-0388

<https://kpsl.jp/>

福岡県福岡市西区九大新町4-1
九州プロサーチ有限責任事業組合